

ESDとは

ESD
ユネスコ世界会議とは

会議の参加者の方へ

イベント情報

パートナーシップ
事業について

支援実行委員会

[TOPページ](#) > [支援実行委員会](#) > [会長あいさつ](#)

支援実行委員会

会長あいさつ

支援実行委員会について

活動記録

ロゴマーク・キャッチフレーズ

入札・調達情報

寄附・協賛について

ご協力いただいた皆様

■関連サイト



[●関連サイト一覧](#)

会長あいさつ

2014年11月に、愛知県名古屋市内において「ESDに関するユネスコ世界会議《UNESCO World Conference on Education for Sustainable Development》（以下、「世界会議」という。）」が開催されます。この会議は、日本が提唱し、2005年から国連の主導により、世界中で取り組まれている「国連ESDの10年（2005年～2014年）」を締めくくる大変重要な会議です。ユネスコ加盟の195カ国から、閣僚をはじめ政府代表者や教育関係者など約1,000人を中心に、国内外のESD関係者などが集まり、地球の未来と向き合うESDをテーマに、この10年間の取組の成果や2014年以降の方策について話し合われるもので、私たち、そして未来の世代にとっても重要な意義を持つ会議であります。開催地となるあいち・なごやでは、この大切な会議を地元としてしっかり支援するため、行政機関、経済界、教育機関など、幅広い関係者による地元支援実行委員会を設立し、主催者であるユネスコ、日本政府との調整をはじめ、さまざまな会議支援の取組を進めております。また、開催地として、ユネスコスクールやRCE（ESDに関する地域の拠点）における取組を促進し、ESDのさらなる浸透に努めてまいります。安全・安心で、円滑かつ快適な会議運営を支援するため、地元支援実行委員会は関係者との連携・協力のもと、警備や救護などの地元体制の構築や、ボランティアによる会議運営への協力を行う「会議支援」をはじめ、公式歓迎行事やエクスカージョンなどのおもてなしや地域の魅力を発信する「あいち・なごやの魅力発信」など、会議に参加された方々に十分満足いただけるように取組を進めてまいります。また、今回の会議を契機に、私たち一人ひとりが、持続可能な社会を次の世代へとつなぐESDの大切さを再認識し、理解を深められるよう、多くの県民・市民が参加できる一般向けイベントの開催や、多様な主体によるESD活動の促進など、「ESDの普及啓発・取組促進」にも取り組んでまいります。2005年の愛知万博、2010年のCOP10により、当地に根付いたさまざまな経験や成果を十二分に活用しながら、地域の力を結集し、世界会議を成功に導くとともに、開催地「あいち・なごや」のさらなる飛躍・発展につなげてまいります。



愛知県知事 **大村秀章**

ESDユネスコ世界会議あいち・なごや
支援実行委員会 会長

[| お問い合わせ](#) | [| サイトマップ](#) | [| プライバシーポリシー](#) | [| 免責事項・著作権・リンクポリシー](#) |